

南相馬市への物資支援について（御礼）

師走の候、貴台には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

本年3月11日に発生した、東日本大震災と引き続き起こった東京電力福島第一原子力発電所事故によって、南相馬市民6万人余りが一時避難を余儀なくされました。貴台におかれましては、本市民のために心温まる物資の支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。

事故から9ヶ月を過ぎましたが、現在のところ損傷した発電所施設の復旧と安定化が図られつつあることや、本市の中央部に設定されていた「緊急時避難準備区域」が9月30日に解除されたことから、除染活動を進めてきた結果、小・中学校や県立高校が再開され、経済活動等の再開も図られたことにより市民の帰還が相次ぎ、現時点で約42,000人を超える市民が市内での生活を再スタートさせています。しかし、未だ約27,000人の市民が市外で避難生活を余儀なくされているところです。

本市は、一日も早い復旧・復興に向け、放射性物質からの影響に対する不安を解消するため、除染計画に基づく除染の具現化とともに、復興計画の年内策定に向けて取り組んでいるところであり、計画策定を持って具体的復興対策に着手する運びであります。

また、貴台からの支援物資については、市内で不便で不安な生活を強いられている市民、特に避難所や仮設住宅等居住者のもとへ生活支援としてお届けし皆様から心から「ありがとう」の感謝の言葉を頂戴しております。

現在の支援物資の受入は、避難所の縮小とともに避難者が自立生活できる環境が概ね整い、物資の需要縮小が見込まれ一定程度在庫として既に確保されたことから新規の受入は一時停止しております。これまでの支援に対しまして改めて敬意と感謝申し上げます。

厳寒を迎え、貴台におかれましては、ご健康に十分にご留意されましてご活躍されますとともに、益々のご発展をお祈り申し上げ、これまでのご支援に対する御礼とさせていただきます。

平成23年12月吉日

南相馬市にご支援を頂いた団体の長 様

福島県南相馬市災害対策本部長
福島県南相馬市長 桜井 勝延

